

## 地域振興を皆さんとともに

企業版ふるさと納税第5号

7月4日（水） 市役所

高山信用金庫から企業版ふるさと納税を活用し、市へ寄付をいただくことになりました。

寄付額は200万円で、市が進めている飛騨神岡宇宙最先端科学パーク構想推進事業（宇宙物理学研究紹介展示施設「ひだ宇宙科学館 カミオカラボ」）の整備財源に充てられます。

この日は、目録授与ならびに感謝状贈呈式が行われ、同信用金庫の坂口秀平理事長や都竹市長らが出席しました。なお、ひだ宇宙科学館カミオカラボは平成30年度末に完成予定で、完成後、施設内に企業名を入れたプレートが掲示される予定です。



感謝状を手にする坂口理事長（右から2番目）ら

## ぎふアニメ聖地連合主催アニメ活用セミナー

アニメを活用した地域振興に取り組む

7月2日（月） 岐阜市 ぎふメディアコスモス

アニメなどのコンテンツを活用した地域振興について考えるセミナーが、岐阜市で開かれました。

このセミナーは、アニメを活用し地域振興に取り組む岐阜県内の9自治体で組織する「ぎふアニメ聖地連合」が主催し、アニメ活用の先進地から講師を招き、事例紹介や手法について勉強することを目的に行われ、自治体やまちづくり関係者ら約50人が参加しました。

この日は、埼玉県秩父市観光課の中島学氏が講演し、民間との連携やアニメに関わる活動紹介などについて話しました。その後、トークセッションが行われ、パネラーにアニメの舞台やモデルとなった飛騨市、岐阜市、大垣市の担当者らが、各市で取り組んでいる取組を参考にコンテンツを活用した地域振興について語りました。



秩父市の取り組みを紹介する中島氏

## 夏 飛騨流葉ドローンパークがオープン

場のスキー場を有効活用

7月6日（金） 流葉交流センターMプラザ

飛騨流葉ドローンパークのオープンセレモニーが6日、流葉交流センターMプラザで行われました。

ドローンパークは、流葉スキー場の夏場の有効活用と地域活性化を図ろうと企画されたもので、同スキー場のゲレンデの一部を無料で開放し、面積は約5ヘクタール、直線距離で400メートルあり、東京ドーム一個分の広さとなっています。

この日は、同施設でオープンセレモニーが行われ、神岡ドローン実行委員会の柿下剛委員長や都竹市長、その他関係者ら約30人が出席し、都竹市長、柿下委員長のあいさつのあと、市の担当職員から同パークの紹介が行われました。



あいさつをする柿下委員長

## 飛 ガッタンゴー線路にイルミネーションを設置

飛騨神岡高校の生徒らが協力

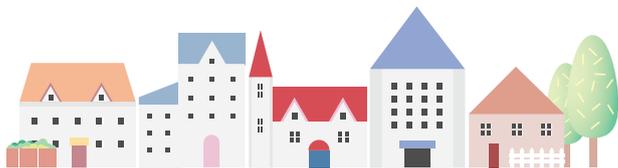
7月4日（水） 神岡町 神岡第1トンネル

飛騨神岡高校の生徒たちが、神岡町のレールマウンテンバイクのまちなかコース中にある神岡第1トンネル内にイルミネーションを設置しました。

これは、ガッタンゴーを運営する地元のNPO法人神岡・町づくりネットワークと、同校の電気系を専攻する3年生の12人が協力し、トンネル内への電気配線やトンネル入り口から約75メートルの場所から約100メートルにわたって、白色のLEDライトを線路の内側に沿って設置しました。



イルミネーションが設置されたトンネル内



## 地 GSAで神岡鉱山や宇宙物理学を学ぶ 下1,000名で探検ツアー

7月14日(土)・15日(日) 神岡鉱山

神岡鉱山の本物の坑道と「スーパーカミオカンデ」や「カムランド」などの宇宙物理学最先端の研究施設を活用して行く、地中の探検イベントが開催されました。

2日間で、全国から約700人がイベントに参加し、神岡町公民館で東北大学の学生によるセミナーが行われた後、バスで坑内に入り、中を歩きながら神岡鉱山の歴史の説明や、実際に使われていた大型重機の見学、暗黒体験が行われました。

また、東京大学宇宙線研究所の先生からスーパーカミオカンデの概要や、工事の内容について詳しく説明され、ライブカメラでタンクの中の映像が紹介されました。



スーパーカミオカンデの説明を聞く参加者

## 魅 吉城高校で市長が特別出前授業 力ある地元高校づくりの推進

7月10日(火) 吉城高等学校

吉城高校で都竹市長による政治経済についての「特別出前授業」が行われ、政治経済を選択する3年生37人が2時間の授業を受けました。

市では、魅力ある地元高校づくりの推進を図るため、地元高校の魅力発信のほか高校と行政や地域の連携を強化した取り組みを進めています。

市長の出前授業の科目は「政治経済」で、地方自治、議会や飛騨市行政の現状などについて授業を行いました。

授業では、地方自治を行っている「飛騨市役所」でどんなことが行われているのか、国と地方公共団体の役割、首長と議会の関係など、身近な飛騨市の現状を交えながら分かりやすく説明しました。



生徒らの前で授業をする都竹市長

## 豪 飛騨署が感謝状 雨災害で孤立した市民や観光客を支援

7月24日(火) 飛騨警察署

飛騨署は24日、豪雨の影響で孤立した市民や観光客67人に無償で宿泊施設や飲食物を提供し支援した方々に感謝状を贈呈しました。

この日は、ドライブイン数河の山村悟史さん、移動販売「まごころよしさん」の坂本良威さん、数河区の池田政則区長が訪れ、同署の岩井靖署長から感謝状が手渡されました。

山村さんらは「皆さんの協力のおかげだと思っている。身に余る思いです。困っている人がいれば当然の行為です。人の被害が無く本当に良かったです」と話していました。



感謝状を手にする関係者

## 安 親子で給食作りを体験 全で美味しい給食作りを学ぶ

7月24日(月) 古川国府給食センター

給食づくり体験が古川国府給食センターで行われ、古川町・国府町の小学校の親子29人が参加しました。

この日は、給食センターの説明などが行われた後、調理室に入り、野菜の下処理や炊飯、大きな鍋などを見学し普段どのように給食が作られているのかを学びました。児童らはじゃがいもの芽とりや、揚げ物体験、大きな鍋で野菜を炒めたり、スイカを切ったり給食作りを体験しました。

参加した児童は「給食センターや給食の秘密を知ることができたと、おいしい給食を作れてよかった」と話してくれました。



大きな鍋で野菜を炒める児童